

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成23年 2月 3日		
		作成部署	丹後広域振興局		
事業名	治山事業（復旧治山）		地区名	国分	
概算事業費	99,000千円		事業期間	平成23年度～平成26年度	
事業概要	治山ダム工8基 山腹工0.05ha				
目指すべき環境像	<p>当該地区周辺には、日本三景である天橋立、成相寺、元伊勢籠神社及び郷土資料館などの古い歴史や伝説を持つ名勝や文化財が多く存在し、それらの保全が強く求められている。また、周辺森林は世屋高原地区としてフナやミスナラ等の落葉広葉樹の森林景観の保全も求められている。</p> <p>当該地区は、急峻な地形及び風化の進んだ地質等の自然条件から、豪雨等による山地災害発生の危険性が高いため、周辺の森林に対しては、土砂流出防備に関する公益的機能の発揮が期待されている。</p> <p>そのため、荒廃した溪流を整備し、溪流の安定化を図り森林の水土保持機能を高めることにより、重要な保全対象の将来に渡る保全と地域住民の安心・安全な住環境づくりを目指す。</p>				
関連する公共事業	京都府丹後土木事務所 河川改良工事 宮津市 市道（橋梁）改良工事				
評価項目		施工地の環境特性と目標		環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点		選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO2排出量等)	○	急峻な地形及び風化の進んだ地質等の自然条件から、溪流からの土砂の流出が住民生活を脅かしており、その抑制が求められている。 丹後天橋立大江山国定公園の指定地でありフナやミスナラ等の落葉広葉樹の森林景観の保全が求められている。 天橋立は侵食による縮小が問題となっており、その維持及び保全が求められている。	治山ダムの設置により溪流の勾配を緩和することで土砂の流出を抑制する。また、山腹崩壊箇所の緑化には、外来生物の種子を入れず、落葉広葉樹林を目指した種子配合とする。 簡易構造物等に木材を利用し、環境負荷の低減を図る。 土砂災害の発生の高い溪流のみの整備とし、また、整備率も安全性を考慮した必要最低限とし、天橋立の保全及び維持を図る。	4
	地形・地質	○			3
	物質循環（土砂移動）	○			4
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系	○			3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン		当該箇所は、工事施工箇所と人家等が近接しているため、工事に伴う騒音・振動に留意する必要がある。 ダム施工に伴う床堀土砂や伐採竹の適切な処理が求められる。	工事の施工に際しては、低騒音・低振動の重機を使用する。 床堀土砂は、ダム周辺の埋め戻しに利用し現場内で処理する。伐採した竹については、型枠として利用し、コスト削減を図る。	
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			3
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	○	当該地直下には、郷土資料館や国分寺等文化財があり、土砂災害の防止が求められる。 また、当該地周辺には天橋立、成相寺、元伊勢籠神社等文化財が多く残る地区であり、観光客等が多く景観的な配慮も重要である。	治山ダムの設置により溪流の勾配を緩和することで土砂の流出を抑制する。 治山ダム工に化粧型枠を施工し、景観に馴染ませる。	3
	里山の保全	○			4
	地域の文化遺産	○			5
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他				
外部評価					